

レプリントン配合錠 L100 の溶出試験

辰巳化学株式会社

I. 溶出試験

「医療用医薬品の品質に係る再評価の実施等について（医薬発第 634 号 平成 10 年 7 月 15 日）」に基づき、レプリントン配合錠 L100 及び標準製剤ネオドパストン配合錠 L100 の溶出挙動を比較したので、試験結果を Table 1～8、Fig 1～8 に示す。

なお、溶出挙動の同等性の判定は「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン（医薬審発第 786 号 平成 13 年 5 月 31 日）」（以下「同等性試験ガイドライン」という）に準じる。

II. 結果

●レボドパ

pH1.2、pH4.0、pH6.8 及び水（いずれも毎分 50 回転）の試験条件において、試験製剤及び標準製剤はともに 15 分以内に平均 85%以上溶出した。

●カルビドパ

pH1.2、pH4.0、pH6.8 及び水（いずれも毎分 50 回転）の試験条件において、試験製剤及び標準製剤はともに 15 分以内に平均 85%以上溶出した。

以上の結果より、レプリントン配合錠 L100 は標準製剤の平均溶出率と比較した結果、全ての溶出試験条件において同等性試験ガイドラインの溶出挙動の同等性の判定基準に適合した。

Table 1 pH1.2（毎分 50 回転）における平均溶出率（%） レボドパ

溶出時間（分）	5	10	15
試験製剤	95.9	97.5	97.6
標準製剤	98.1	99.1	99.8

Table 2 pH1.2（毎分 50 回転）における平均溶出率（%） カルビドパ

溶出時間（分）	5	10	15
試験製剤	96.8	97.5	96.7
標準製剤	96.3	96.5	96.2

Table 3 pH4.0（毎分 50 回転）における平均溶出率（%） レボドパ

溶出時間（分）	5	10	15
試験製剤	88.0	94.8	97.4
標準製剤	93.5	98.2	98.8

Table 4 pH4.0（毎分 50 回転）における平均溶出率（%） カルビドパ

溶出時間（分）	5	10	15
試験製剤	93.3	96.5	96.8
標準製剤	96.5	98.2	97.1

Table 5 pH6.8（毎分 50 回転）における平均溶出率（%） レボドパ

溶出時間（分）	5	10	15
試験製剤	88.9	94.7	97.9
標準製剤	91.2	96.7	98.7

Table 6 pH6.8（毎分 50 回転）における平均溶出率（%） カルビドパ

溶出時間（分）	5	10	15
試験製剤	90.1	92.5	92.2
標準製剤	88.9	93.2	93.6

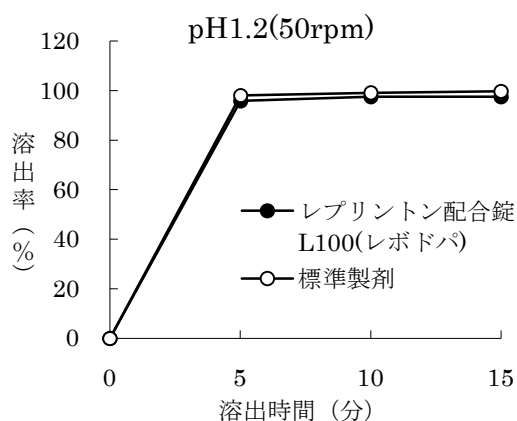
Table 7 水（毎分 50 回転）における平均溶出率（%） レボドパ

溶出時間（分）	5	10	15
試験製剤	83.8	90.0	93.4
標準製剤	95.8	100.1	101.8

Table 8 水（毎分 50 回転）における平均溶出率（%） カルビドパ

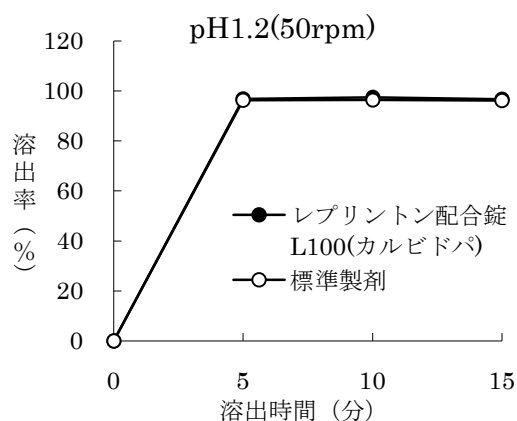
溶出時間（分）	5	10	15
試験製剤	90.6	91.9	92.5
標準製剤	93.1	95.8	96.8

Fig 1 pH1.2（毎分 50 回転） レボドパ



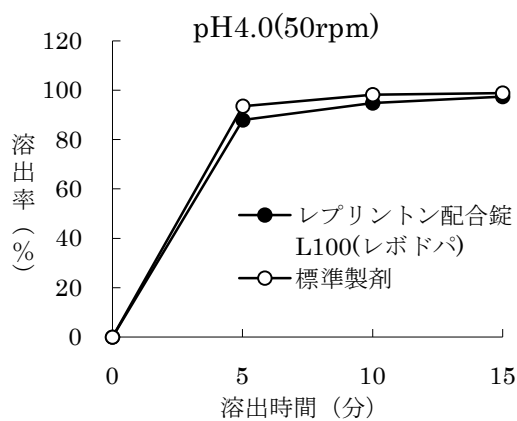
n=6

Fig 2 pH1.2（毎分 50 回転） カルビドパ



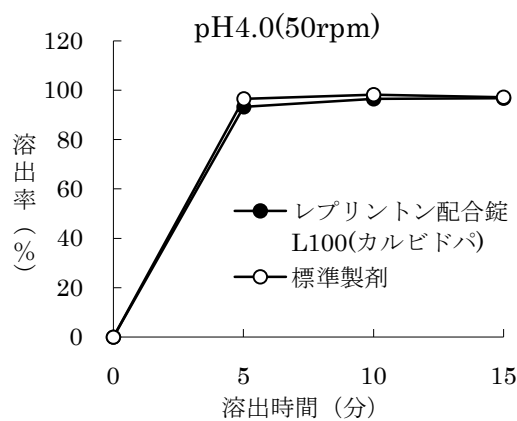
n=6

Fig 3 pH4.0（毎分 50 回転） レボドパ



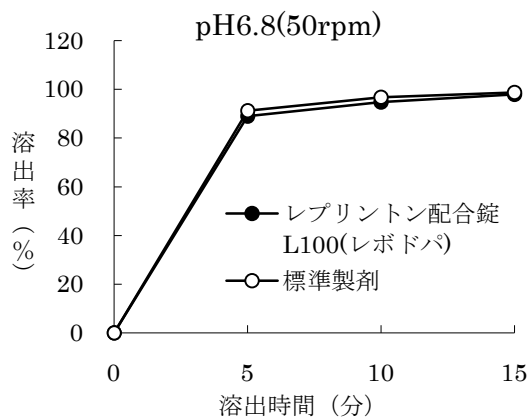
n=6

Fig 4 pH4.0（毎分 50 回転） カルビドパ



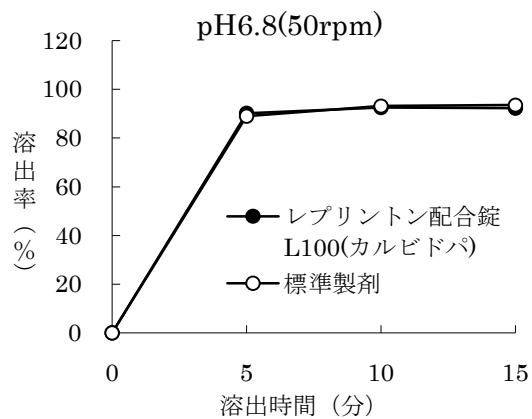
n=6

Fig 5 pH6.8 (毎分 50 回転) レボドパ



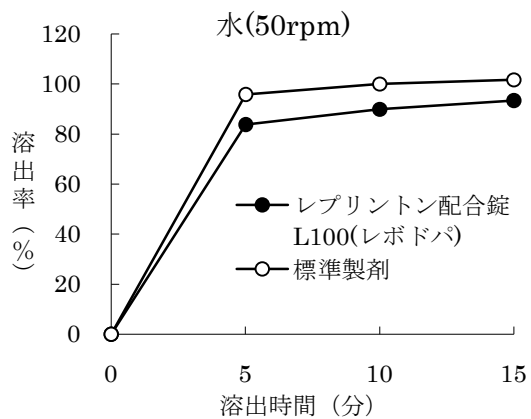
n=6

Fig 6 pH6.8 (毎分 50 回転) カルビドパ



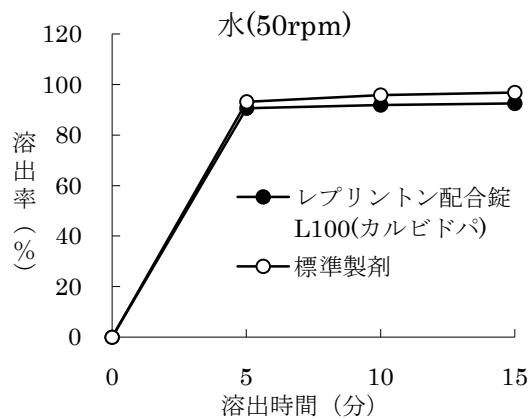
n=6

Fig 7 水 (毎分 50 回転) レボドパ



n=6

Fig 8 水 (毎分 50 回転) カルビドパ



n=6